

6 区民フェスティバル

鶴見区では、区民フェスティバルを開催しています。それぞれのフェスティバルは、会場周辺の地区連合町内会や地元企業等により組織された実行委員会の企画運営により、開催されています。

● 三ツ池公園（文化・環境）フェスティバル

多数の区民ボランティア参加のもと、ステージでの各団体の発表や、フリーマーケット、中学生ボランティアによる牛乳パックの回収などを通じて、「文化と環境」に関心を持ち、積極的に理解することを目的に開催しています。

また、鶴見区の友好交流都市である、福島県西会津町や棚倉町、石川県輪島市の特産物の販売なども行われています。

会場 県立三ツ池公園 **実施日** 令和元年5月18日(土)
来場者数 約50,000人



団体によるステージイベント

● つるみ臨海フェスティバル

「鶴見大好き 私のふるさと～みんなで創ろう つるみ臨海部」をテーマとして、臨海部に親しみながら誰もが楽しめるふれあいの場を提供し、子どもから高齢者まで、安心して暮らしていけるあたたかな地域づくりを目的に開催しています。ステージでは、地元小中学校や団体による多彩なパフォーマンスが繰り広げられ、地域の団体や地元企業が多数の模擬店を出店し、まつりを盛り上げています。

また、毎年恒例のお楽しみ抽選会も行われ、会場は大いに賑わいます。

会場 入船公園 **実施日** 令和元年10月19日(土)
来場者数 約45,000人



ステージイベント
(みんなで踊ろう!!鶴見ふるさと音頭)の様子

※各区民フェスティバルの実施日及び来場者数(実行委員会発表)は、令和元年度のものです。

資料：鶴見区地域振興課

COLUMN 関東の沖縄タウンつるみ!?

鶴見区には、多くの沖縄料理店や沖縄芸能の団体があります。明治の後半、沖縄では土地整理事業により土地を失った人々が県外・海外へ移住するようになりました。また同じ頃、鶴見では京浜工業地帯の工場などの敷地の埋立・造成のため労働力の需要が高まり、沖縄出身の若者が出稼ぎに来て定住するようになりました。現在でも、鶴見区は沖縄出身の方が多く、区内のお祭りや沖縄料理店などで、沖縄の文化や方言に出会うことができます。



ウチナー祭開幕宣言

● **鶴見ウチナー祭** **会場** 入船公園 **来場者数** 約70,000人
実施日 令和元年9月21日(土)～22日(日)

